

令和8年度 小須戸地区文化祭が開催されます

市民展 10月31日(土) 10時～17時
11月1日(日) 10時～15時

展示内容(予定)

【サークル・個人作品展示】
絵画、写真、書道、ペン字、色鉛筆画、
編み物、俳句、川柳、切絵、苔テラリウ
ム、ロマンダー、ハーバリウム など

【地域研究サークル 活動報告展】

小須戸アーカイブス
こすど史学会
知学ラボ

【小須戸・矢代田保育園 園児作品】

園児作品を展示します

【社会福祉施設】

利用者制作作品を展示します

芸能祭 11月15日(日) 9時45分～13時

内容(予定)

【演奏】大正琴、ギター、ピアノ、オカリナ
ハーモニカなど

【歌唱】民謡、合唱

【踊り】ダンス、フラダンス

【その他】腹話術

*出品・出演内容およびイベント等の時間・内容は変更になることがあります。

会場 小須戸まちづくりセンター

※文化祭ボランティア募集

文化祭をお手伝いいただける市民ボランティアを募集します。いずれの作業も概ね1時間程度です。お力添えくださいますようお願いいたします。

【市民展】10月30日(金) 10時より、3階ホール 展示パネル・ポールの設置作業、11月1日(日) 15時より、展示パネル・ポールの撤収作業

【芸能祭】11月15日(日) 芸能祭終了後 ステージ・控室の撤収作業 ●お問合せ:小須戸地区公民館 ☎0250-25-5715 (平日9時～17時の間)

第21回小須戸地区囲碁・将棋大会 参加者大募集

●日時 11月28日(土)

開会式 9時15分 競技開始 9時30分 終了予定 16時00分

●会場 小須戸まちづくりセンター 2階 研修室

●対象 秋葉区に在住・在学・在勤または、小須戸囲碁・将棋愛好会員の方

●申込方法・締切 参加希望者は11月13日(金)までに「囲碁・将棋大会申込書」を小須戸地区公民館へ提出してください。(FAX可)

※申込書は小須戸まちづくりセンター、小須戸地区公民館に備え付けのチラシの下段にあります。

【注意】※大会当日の申し込みは受け付けません。

昼食のあせしは行っていませんので、各自でご用意ください。

●主催 小須戸地区公民館/小須戸囲碁・将棋愛好会

●問合せ先 小須戸地区公民館 電話:0250-25-5715 FAX:0250-38-5210

小須戸の植物たち Vol.6 ツリフネソウ

(協力:新潟県立植物園友の会)

Niigata Botanical Garden
TOMONOKAI



ツリフネソウは菩提寺山の登山道わきの少し湿ったところに自生しているほか、信濃川河川敷の一部でも見ることが出来ます。9月ごろ長さ3～4cmほどの横長で赤紫色の花を吊り下げるように咲かせます。この形が帆掛け船を吊り下げている様(さま)に見立てて付けられた名前といわれています。

花をよく見ると後方の距(きょ)と呼ばれる部分の先が渦巻き状になっています。この部分には蜜が入っていて昆虫が蜜を吸いに来るのですが、この形のため蜜を吸うことのできる昆虫は口吻(こうぶん)と呼ばれるストロー状の器官が長いマルハナバチなどに限られます。

マルハナバチは体中が毛でおおわれていることから、蜜を吸っている間に雄しべが体に触れて花粉を身にまといまいます。そして同じ種類の花にも蜜を吸いに行くことで、確実に受粉が行われるという仕組みができるのです。

マルハナバチにとってもツリフネソウは蜜を独占できるというメリットがあるというウインウインの関係になっているのです。ところがこの相思相愛の関係を壊す者がいるのです。それがクマバチです。

クマバチは頑丈な顎と太い口吻を持っていて、さらに安定したホバリング能力をもっているため、ツリフネソウの花に潜り込むことなく、蜜がたまっている距の脇か

ら穴をあけて蜜を吸います。するとツリフネソウは受粉されることなく蜜だけが取られてしまうのです。

無事に受粉できたツリフネソウはやがて実をつけます。熟した実を軽く指で挟んでみてください。指にパチンという感触があったかと思うといつの間にか実が無くなっています。

よく見ると実がバナネのようになって丸まっています。刺激によってねじれの力を一気に開放して、目にも止まらぬ速さでタネを飛ばしたのです。

高浜虚子の「釣船草咲くや山山水碧に」という俳句があります。

「ツリフネソウの赤紫色の花と、山川の澄みきった碧色との鮮やかなコントラストが目につくような美しい句ですね。」

ツリフネソウの間には黄色いキツリフネがあります。距の形も異なっています。

新潟県立植物園友の会は、植物園を拠点に活動する植物や自然が大好きな人たちの集いです。会の活動についてもっと知りたい、という方は、下記二次元コードからホームページにアクセスしてみてください。植物観察会や各種講座などのイベント案内や植物に関する豆知識など、県立植物園や、植物に関するたくさんの情報を掲載しています。

また、「植物を楽しもう」ページ内の「質問コーナー」では植物に関する質問も受け付けています。お気軽にお問い合わせください。



友の会HPはこちら

こすど地区公民館報

発行/編集 小須戸地区公民館
〒956-0101
新潟市秋葉区小須戸120番地5
TEL (0250) 25-5715
FAX (0250) 38-5210
E-mail
kosudo.co@city.niigata.lg.jp

公民館
ホーム
ページ



「久しぶりに暮らす小須戸」



小川友紀 さん
(矢代田)

里帰り出産のため、約二〇年ぶりに小須戸で暮らしている。久しぶりに住んでみると、「意外と小須戸って住みやすい」と思ふ。最近、大学進学を機に神奈川で一三年、結婚を機に福岡で四年暮らし、神奈川は渋滞はひどく、車で用を足すのにも時間がかかった。小須戸からは車で一〇分圏内で大抵のものがそろい、新潟市中心部にも三〇分ほどで行ける。越後平野には黄金色の稲が広がり、気持ちの良い風が吹き抜ける。遠くに見える高い山々もかっこいい。便利さと自然の心地よさを感じながら、毎日を過ごしている。涼しくなってきたので、アヒル風呂を楽しみにしている長女と、今週末も花の湯館へ温まりに行こうと思う。

編集委員の
つがやき

スポーツなどで遠征を行います。今年の夏は7月に福島県二本松、8月に石川県金沢、9月に埼玉県熊谷へ。遠征は家に着くまで、安心・安全で実施したいものです。秋シーズンも大会・遠征が続きますが、事故なく楽しく終りたいものです。

